

# 平成31年度使用教科用図書調査書まとめ

教育指導課

平成30年7月

# 平成31年度使用教科用図書調査書まとめ

## 目次

### 中学校 特別の教科 道徳 (種目：道徳)

集計表	・・・・・・・・	1
「その教科書が適切である理由」一覧		
東京書籍	・・・・・・・・	2
学校図書	・・・・・・・・	3
教育出版	・・・・・・・・	4
光村図書出版	・・・・・・・・	5
日本文教出版	・・・・・・・・	7
学研教育みらい	・・・・・・・・	8
廣済堂あかつき	・・・・・・・・	9
日本教科書	・・・・・・・・	9



平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

東京書籍

その教科書が適切である理由	
4. 「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えて議論できる教材が多い。</li> <li>・生徒を取り巻く今日的な話題について、わかりやすい表現で書かれている。</li> <li>・物語の終わりに、考える観点などがあり、何について考えればよいかわかりやすい。</li> </ul>
2	エンカウンター的 話し合いがしやすく扱いやすいように考えられる。「考えてみよう！」では考えるべきポイントが示され、議論しやすい構成になっている。
3	生徒が議論し易い設問になっているものが多い。
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が興味を持つ話題を扱っている。</li> <li>・論点を生徒に伝えやすい。</li> </ul>
5	最初の目次でわかりやすいジャンル分けがされており、何にポイントを置いて考えるかがわかりやすい。振り返りながら議論していくという構成になっており、生徒自身の問題として捉えやすいのではないか。
6	ページ内に発問もあり、考えを深めるきっかけづくりがある。心の扉で多面的・多角的なものの見方をつくるきっかけがある。
7	様々な内容があり考えやすい。内容が良い。話し合う設問が適切に設定されている。身近な話題が多く、資料も多面的。自分のことばでまとめるページがよい。
8	意欲的な題材選出を感じる。「キラウエア火山」「子ども兵士」など考える道徳につながると思う。
9	「考えてみよう！」のコーナーもあり、考え議論するポイントがあり、内容も中学生に身近なものが多く、自分自身の問題と捉え向き合いやすい。
10	・Actionの題材が生徒にとって身近で、討論しやすい。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの手引きがはじめにあり、わかりやすい。</li> <li>・様々なジャンルのところから文章を選んである。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論しやすい内容になっている。</li> <li>・文章が少なく、考える時間を確保できる。</li> <li>・考えさせる題材になっている。</li> </ul>
5. 「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>権利と義務をセットで教えることや「子どもの権利条約」に触れるなど、工夫が見られる。</li> <li>・実話が多く、情景を思い浮かべながら考えることができる。</li> <li>・生徒個人が抱える課題について、具体的な話題を取り上げている。</li> </ul>
2	ホワイトボードや「みんなで意見を書こう」のようなコーナーが用意されており、話し合いがしやすく、様々な意見を聞くことによって物事を多面的・多角的に考えられるような工夫がされている。
3	振り返り仲間と議論することで多面的、多角的な考え方が出てくると考えられる。また教材を重ねて扱う部分もあり多面的な教材となっている。
4	「心の扉」があり、考えを深めるきっかけづくりがされている。物事を多面的・多角的に考える工夫がされている。他の人の意見という記載がある。
5	題材がよい。マンガ、投書など資料が多彩。教科書とノートが一緒なので扱いやすいし、ノートの発問が多面的に考えられるような発問になっている。
6	マンガ劇・討論・記述・グループワークなど、取り組み形が多岐にわたっているため、目先が変わって飽きずに取り組めると思うから。
6. 「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。	
1	コミュニケーションを取って様々な課題を解決するような働きかけが多い。
2	生徒の日常生活で起こりやすい事例を挙げながら、どうすればいいのかを考えさせる課題が多い。
3	「Action」にあるように、ロールプレイなどをして体験的な学習をすることができるような工夫がされている。話し合いの手引きも書かれており、どのように話し合ったら良いか分かる。
4	いじめをなくすために考える教材が各学年ごとに工夫されている。
5	設問が熟成されていると感じるものも多く、問題提起がしやすくと感じた。
6	話し合いができるような題材が選ばれている。
7	役割をもって演技をしたり、グループでの活動などがありアクティブな内容である。

8	ACTIONのページがあり、ロールプレイをしながら、考える場面が設定されている。
9	まんがの1コマを使ってそこからお話にもっていく形もあるので学習しやすい。いじめに関して4つのグループに分かれて考える問題解決的な学習は良い。資料に対する設問が問題解決に適切に導いている。体験的なテーマがある。ワークシートが参考になる。
10	ついている「Action」は、生徒にとって楽しく取り組める教材となると思う。全体的に取り組みやすい工夫がされている。
11	高齢化社会やいじめを始めとする社会背景、社会問題が明確に挙げられており、扱いやすい。
12	・議論しやすい内容となっている。 ・体験的な内容を含んでいる。
<b>7.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連</b>	
1	いじめに関する教材がシンプルで、生徒が考えやすいものになっている。ホワイトボード用紙が生徒の頭の中の考えを整理して表現するのによい。多角度、色々な意見が考えられる。様々な考えを共有できるのも生徒にあっていると思う。これからの道徳でめざす「考え、議論する道徳」に沿った構成になっている。また、これまでの道徳で学校教育が実践を積み重ねてきた部分と、新たに今後子どもが学ぶべきだ題材がバランスよく取り上げられているように感じた。
2	本校の生徒の実態に合った資料が多く入っており、「郷土のことを考える」は生徒にとって身近な資料が収録されている。
3	ある程度の方向性はある。(方向性がないと生徒が何をやっているか分からなくなるから)
4	特に地域の特性とは関連はないが、本校では外国籍の生徒が多く、国際的な視野が必要な実態があるので、適切であると考ええる。
5	テレビや新聞などで見かけたことのある人物の話もあり、興味をひきやすい。ホワイトボード状のページが良い。
6	教材がバラエティーに富み、興味を引きやすい。内容に具体性を感じる。内容・量ともに適切と考える。話し合い考える活動に取り組みやすい。話し合いの方法が考えられている。SNSのやりとりなど生徒にとって身近。単元ごとに話し合いの形式が違い、生徒も前向きに取り組みやすい。
7	課題設定がよく考えられていて、地域や生徒の実態から考えやすく、話し合いが持ちやすく議論しやすい
8	本校の学校教育目標や行事などと関連があり、実態として自ら考え行動することや他との関わりというウィークポイントを育てるのに適している。
9	・SNS等、情報モラル関係の内容が適切である。 ・全体的な内容バランスが適切である。

平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

学校図書

その教科書が適切である理由	
4.「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
1	生徒が理解しやすい内容である。
2	・身近な話題が多く議論がしやすい。 ・考え方が別れる内容なので、文章の選択が良い。
3	「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっている。つぶやきコーナーがあり、考えをもつきっかけづくりがされている。
4	文末が子どもに投げかける形になっていたり、意見交換できる問いかけがあって議論しやすい。
5	国をどうとらえるかの題材関係がよい。
6	様々な学習方法を取り入れていて、活発に自主的に取り組みやすい教材となっている。
5.「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
1	・身近な内容が多いので多面的な意見がしやすい。安易な「いい話」で終わっていない。内容が多い。 ・押しつけが少ない
2	考えよう、考えよう+意見交換、みつめようの展開。偉人の話などが多い。考えさせる内容も多く含まれている。自分の体験の記入欄がある。学びに向かうためにわかりやすい。
3	資料の選択が、考えさせられるようなものが多い。
4	・題材の末に自分のことについて振り返り、記入できるようになっている。 ・自分らしい多様な生き方を実現させるための題材がよい。

6.「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。	
1	主人公の葛藤が書かれたものが多く、より良い生き方とは何か話し合いの中から解決していきやすい。
2	ACTIONがあり、ロールプレイをしてみることで、より身近に考えることができる。体験的な学習等が適切に取り上げられている。
3	自分の体験の記入欄がある。体験的な内容が多い。学んだことを身近なものとして考える心の扉は良い。
4	話し合いを行いやすそうなので、問題解決的な学習にしやすそうである。
7.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	生徒は分かっているも楽な方へ逃げてしまう傾向があるため、この教科書はそういう面の議論ができる内容である。
2	自分らしい多様性を実現するような題材がある。
3	選定された教材が各学年の生徒の発達に応じている。

平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

教育出版

その教科書が適切である理由	
4.「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
1	複数の視点から考える教材が豊富
3	自分のこととして捉えるような工夫があり、議論する内容になっている。
2	議論できる内容の題材が多い。
4	・今、中学生が直面している課題をよく捉えている。 ・身近に起こりうる事例をわかりやすく紹介した後に、考えさせるよう最後まで提示しない工夫がある。
5.「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
1	本校では、文学的な読み物に慣れ親しんだ生徒が多い中、結論を考えさせる教材が豊富で、多様な思考が生まれやすい
2	いろいろな登場人物に対して、興味をもたせ、考えさせる工夫がある。
3	物事を多面的に考えさせようとする題材が広がりあげられていて、いろいろな角度から考えることができる。
4	様々な内容からアプローチされた教材が入っているから、多面的に考えることができそう。
5	葛藤させる教材がいくつかあり、正解のないテーマに対して自己を見つめながら取り組める内容である。
6.「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。	
1	周りを見て行動を決める受動的な生徒が多い中、あなたならどうするか、という主体的な疑問を投げかけた課題が豊富でよい。
2	「変わりゆく地球」等、グローバル課題を題材に多くあげ、地球の一員としての課題解決の意欲を高めるよう工夫されている。
3	教材の中には、イラストやマンガが多く使われているものもあり、読み取る力が低い生徒でも、その教材のときは前向きに取り組めそう。
7.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	大人っぽい価値観や物の考え方を生徒に効果的な教材
2	マンガなども取り入れられており、本校生徒にとっては、馴染みやすいと感じた
3	杉原千畝の話における質問が生徒の生活にいかせるものがあつた点が良い。興味をひきやすい内容。
4	字が大きくやわらかな字体が使われ、読みやすいという点で本校の生徒の実態に合っている。
5	内容がわかりやすく様々な視点から1つの物事を見ることができる題材が多い。
6	教材に生徒の実態から考えられるような内容があり、「差別」の問題や広く社会人や人とのかかわりを考える内容になっている。

平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

光村図書出版

その教科書が適切である理由	
4.「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
1	子どもに考えさせるような教材が多い。3年の命の選択など、答えの出ないことを考えるのは、道徳的判断力を養うのに効果的で、また議論につなげやすい。教科書のつくりも議論しやすいように構成されている。
2	「父の言葉(黒柳徹子)」「小さな出来事(魯迅)」など、短い文章だが、読む度に自分ならどうするだろう？友人ならどう考えるだろう？と想像したくなる題材が多い。また、学校生活のサイクルにあわせたまとまり「ユニット」があり、時期に合わせて読み進めてゆく活用ができる。
3	短文で読みやすく、議論や話し合いにつなげやすい
4	コラムからちょっとした議論が生まれそうである。
5	教材によるが、議論に広がりがあるものが多い。
6	コラムや学びのテーマが記載されている。
7	教科書の作りが、シンプルで生徒が親しみやすいイラストやコーナーが設けられており、前向きに学習に取り組みたくなる工夫がされている。
8	学びのテーマがありわかりやすい。テーマや観点が示され「考える」「議論する」に結びつきやすい。考える視点がわかりやすい。
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材が豊富で討論できるようなものがたくさんある。</li> <li>・視点を変えて考えられる教材がある。</li> <li>・平和や国際理解に関する内容がよい。</li> <li>・対話的な学びを意識した発問になっている。</li> </ul>
10	道徳的価値について、押しつけでなく生徒に考えさせるよう工夫されている。議論できる内容の題材が多い。様々な学習方法を取り入れていて、活発に自主的に取り組みやすい教材となっている。「問い」がより深い思考を促すものであると感じた。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマごとに目標があり、それについて自分がどう考えるかについての発問がある。また、日々の生活につなげるために考えさせる工夫がある。</li> <li>・考える内容が多いこと。</li> <li>・幅広い題材を取り上げているので、興味をひかれること。</li> </ul>
12	数値ではなく文章表現で自己評価させる点が適切であると考ええる。
13	身近な題材から偉人伝まで多岐にわたる課題をそろえ、それぞれに議論しやすいポイントをとらえている。
5.「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
1	考えさせる題材が多く含まれている。他教科とつながる内容も、ものごとを多角的にとらえるのに良い。「見方を変えて」の問いはわかりやすい。命の大切さなど、いじめに対する題材が適切である。
2	本校では、文学的な読み物に慣れ親しんだ生徒が多い中、結論を考えさせる教材が豊富で、多様な思考が生まれやすい
3	題材の後に「学びのテーマ」欄がある。このページは「考える観点」や「見方を変えて」など、ものごとを多面的・多角的に考える工夫がされている。また、題材は、ユニバーサルな視点が貫かれており、ただ偉人・著名人の話だけでなく、民族・国籍・性別など多様性に富む。
4	誰もが共感する人の弱いところと正義など、多面化しやすい内容が多く感じた。
5	物事を多面的・多角的に考える工夫がされている。
6	ワークシートに場面に応じた登場人物の見方考え方を捉えさせる工夫がされていた。桃太郎の話のように、正解の無い様々な考え方を多面的にできる教材が多い。
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラムや「見方を変えよう」という発問、関連する教科や図書が紹介されている。</li> <li>・ジェンダーやセクシャルマイノリティーにふれている題材がよい。</li> <li>・「視点をかえて」など、多面的に考える工夫がされている。</li> </ul>
8	資料が提示されており、考えを深めるのに役立ちそう。コラムも図式化されており良い。
9	資料の後についている「学びのテーマ」の考える視点が適切であり、授業が進めやすいと感じる。
10	「違いのちがひ」、「希望の義足」等、様々な価値を取り上げ、自分を見つめたり、物事を多面的、多角的に考えさせるよう工夫されている。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考え方を変えて」というところで、別の視点からも考えられるようになっている。</li> <li>・人との関係づくり。</li> <li>・身近でありながら改めて自分を見つめるきっかけとなる題材が興味深く扱われている。</li> </ul>
12	多角的に考えてほしい作品や内容には「見方を変えて」という設問がついており、話題を広げる一助となると思われるので。

13	取り上げた題材に工夫が感じられる。
14	いじめの問題や若者の今の現状など、社会のさまざまな問題点を提起している。
<b>6.「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。</b>	
1	議論するのにふさわしいテーマである。読み物教材は役割演技などをするので体験的な学習をすることのできる余地があるし、身近なテーマが多いので、「自分ならどうする」と考えることができる。
2	導入・まとめのコーナーがあり、一年間のはじめには見通しをもって学習に入り、終わりに振り返って自己の変容を知ることができる。1つのシーズンに複数設けられた「コラム」は、多様なコミュニケーションについて体験的に学び、考えることができる。
3	生徒の日常生活で起こりやすい事例を挙げながら、どうすればいいのかを考えさせる課題が多い。
4	教材のつくられ方がとても丁寧で読みやすく感じた。そのため、正しく問題を共有できるように思ったため。
5	(東書の方がよいとは思いますが)様々な題材が入っている。学習した後、行事につなげる視点も書いてある。学びのテーマを使うことで体験的な学習ができる。
6	・現代社会で課題になっていること、これから生きる生徒が課題になることについて、多くとりあげられている。 ・ユニバーサルデザインコラムのなど。
7	「アンネのバラ」、「違いのちがいが」、「ジョハリの4つの窓」、「友人のよいところ探し」等発達段階に応じて、体験的に学習できる工夫がされている。様々な学習方法が取り入れていて活発に自主的に取り組みやすい教材となっている。
8	レイチャルカーソンの「沈黙の春」を取り上げるなど、身近なことへの危機について取り上げるなど好印象である。
9	発達段階に応じた問題解決が設定されている。
10	・答えのない題材が多いこと。 ・深く考えたり、葛藤するきっかけが生まれる題材が工夫されている。
<b>7.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連</b>	
1	生徒にとって身近な話題や関心もてる教材が多い。使用されている写真や挿絵なども興味をひくものである。記入用紙があるので、自分の気持ちや考えを落ち着いて振り返ることができ、生徒が思考を深めるのに適切である。
2	・挿絵も爽やかで、ジェンダーに関しての配慮があり、題材が、各自で考え、人と語り合いたくなるような内容が多いと感じた。 ・教材のテーマがわかりやすく、素朴な内容だが、親しみやすい。 ・各題材の最後のページに学びのテーマ、考える視点などが掲載され、何を学ぶのか、とても明確であるところが、本校の生徒にとってわかりやすいと思う。 ・コラムがすばらしい。3年生の最初のコラムは「自分も相手も大切に」で、まさに本校が一番大切にしていることと一致している。 ・「対話」で広がる道徳の時間は、本校の研究テーマ「豊かな心を育む言語活動」と協同学習により「主体的、対話的で深い学び」を起こす授業づくりにも、その主旨が合致している、話やコラムが、文章量も絵も議題も、多すぎず少なすぎず、生徒が取り組みやすい。 ・3年生の「希望の義足」は、昨年度本校に来校していただいた方の話なので、生徒も親しみやすい。
3	イラストや図なども多く、色々な生徒が自分の考えを持つきっかけが豊富にある
4	落ち着いた読み物で良い。
5	やはり読みやすさが良い。ただし、かなり長文もある気がした。読み取る力のない子は読むだけにならないか心配した。
6	外国由来の生徒や保護者、母子父子家庭などへの配慮が比較的多くなされており、該当生徒・保護者の多い本校生徒に良いと考える。
7	教材がバラエティーに富み、興味を引きやすい。飽きさせない工夫がある。視覚的にわかりやすい。学び方が提示してある。段階的に考える思考フローがあるのでやりやすい。難しい。毎時間の記録が残せる。
8	「いじめの問題」「生命の尊さ」「平和」「ジェンダー」など生徒に考えさせていきたい題材も多くある。
9	・都市部にすむ本市の生徒が、課題になる題材がある。 ・人権を意識した題材があり、よいと思った。 ・自己評価が段階ではなく自分を見つめる形になっている。 ・分量も分冊等もなく適切である。 ・湘南地域出身の人がとりあげられたりして身近である。
10	選定された教材が各学年の生徒の発達に即している。考え、議論することができる教材が多いので、考える力を育てたい本校には合っている。本校生徒は素直な反面、受動的に物事を捉える傾向があるように感じる。自ら考えて議論する授業を構築しやすいと考える。
11	よいものを与えるとスポンジのように吸収する本校の生徒にはストレートに物事を取り上げている光村が適している。
12	本校の生徒の気質に合っていると考えられる。
13	・文章が短くわかりやすい。 ・例題がわかりやすい。 ・発問が丁寧である。
14	素直な生徒が多いので、ストレートに心に響くだろうと思われる。



平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

日本文教出版

その教科書が適切である理由	
4. 「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
1	「考えてみよう」の欄があり、考えを深められる。
2	・生徒が取り組みやすい身近な内容になっている。 ・ノートも有効に活用できる。 ・教材の配列がよく、使いやすい。
3	ワークシートを併用することによって、考え、議論しやすい構成になっている。説明に必要な図などがとてもわかりやすいようになっている。
4	「学習のすすめ方」で考える内容が統一されて、的確に整理されているので、話し合いの方向性があまりふれずに進められていくと思うので。
5	様々な学習方法を取り入れていて、活発に自主的に取り組みやすい教材となっている。
6	インターネットに関わる問題が取り上げられていて、自分自身の周りのことから考えるのによいと感じる。
7	内容に現実味があり、図や説明のマンガがあってわかりやすい。
5. 「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
1	自分に「プラス1」があり、考えを深めるきっかけづくりがされている。
2	・考えを深めることにつながる内容構成である。 ・ノートは自己変容の様子をつかむのに使える。
3	考えてみよう+1では生徒に一步踏み込んだ考え方ができるようなものになっており、多角的、多面的に考える工夫がされている。
4	多様性のある教材を取り入れていて、自分の知らない視点で物事を見る機会が生まれる。様々な学習方法が取り入れていて活発に自主的に取り組みやすい教材となっている。
5	多種の考えができる教材が多く感じた。
6	ワークシートが35回分あり、「自分に+1」のコーナーがある。多角的に考える工夫があって良い。多面的にもとらえられる工夫がある。(プラトホームのコーナー)
6. 「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。	
1	・誰にでも起こりうる題材・内容である。 ・体験的な題材がそろっている。
2	「学習の進め方」を見ることで、体験的に学習することができるような構成になっている。問題解決的な学習に向いているように思う。
3	「学習のすすめ方」で体験的な取り組みを具体的に取り上げているので、生徒も指導者もわかりやすく進行できると思われるので。
4	生徒が自分のこととして教材を捉えることができるよう工夫されている。
5	友達の意見や話し合いをメモするワークシートが35回分ある。
6	インターネットの使い方に関する項目があり、体験につながる内容である。どうして、このように使うのか議論するのによいと思う。
7	・絵や写真を用いて、問題解決のための考えるポイントがわかりやすい。 ・いじめと向き合うテーマで、段階的な導きがされている。(問題をつかむ→考える→議論する)
7. 本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	行事に関わりのあるものが出てきているので興味をひきやすい。掃除の話(羽田の新津さん、ディズニーランドの人)が良い。
2	・事例が多く、実態に合わせて活用できる。 ・文章が短くわかりやすい。 ・テーマが身近で取り組みやすい。 ・本校で実施している自己評価と同様の形式の評価が示されている。
3	江の島で研究をしていたモースの資料が収録されており、藤沢市の生徒にとって、興味がわくようなものになっている。
4	話し合いの方向性や、話題の発展のさせ方などが、資料などのページとして、わかりやすくまとまっているので、授業の中で何について取り組んでいけばいいのか、生徒も的確に理解しやすいと思われるので。
5	選定された教材が各学年の生徒の発達に即している。道徳ノートがあり、学習に取り組みやすい。
6	イラストに優しさを感じた。馴染みやすそう。ノートに分かれていてテーマを指導者側が生徒の発達段階にあわせられると思う。
7	わかりやすい図や絵があり、文章を読んだり理解したりすることが苦手な生徒も親しみやすいところが本校の生徒に適している。
8	物語文だけでなく、身近な事例が多く載っているため、様々な視点から自分の考えを持つことができる。

平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

学研教育みらい

その教科書が適切である理由	
4. 「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
1	身近な話題が多く含まれ、自分の事としてとらえやすい。
2	考えを深めるポイントを示している。それにより生徒にとって考えるべきポイントがわかりやすいものになっている。
3	道徳で学ぶこと、考えることがわかりやすく書かれていて、内容についても身近に感じるものになっている。
4	題材で人権(全盲の中学校教師)などの題材。
5	身近な話題について道徳的な観点で考えさせるように工夫されている。社会に関心を持ち、視野が広がるように構成に工夫がある。整理→話し合い→振り返り→踏み出すというように順序だててあり、学習しやすいと思う。
5. 「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
1	特定の価値観を押し付けず、多面的に考えられるような構成になっていて、いろいろな角度から考えられていて工夫されている
2	相対する立場で考えられる題材である。
3	テーマの切り口がわかりやすく、自己を見つめやすいような工夫がされている。
4	「公平とは何か」等において、多面的な考え方を図で示すような工夫があり、生徒にとってわかりやすくなっている。
5	自分ならどうするかを考え、他の人の意見を聞きたくなるだろうと思われる教材がある。
6. 「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。	
1	シチズンシップなど考えさせる題材がよい。
2	適切に取り上げられている。
3	ロールプレイなどをして体験的な学習をすることができるような工夫がされている。他の教科よりロールプレイする機会が多いと思う。
4	考えるヒントになるようなワークや図があり、問題解決の糸口が見つけられそうだと感じられる。
5	「命のメッセージ」等自分を見つめたり、他社を受容したりすることを体験的に学習できるように工夫されている。
7. 本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	全般的に適切である。
2	写真などが多く使われていて、生徒が興味を持って課題に取り組めるものになっている。また、海が近いので東日本大震災について書かれているのも良い。
3	文字の量、画像の配置等に工夫があり使いやすい。子どもたちの関心のある内容、身近な存在の事柄や内容を適切と考える。ストーリー性もあり、楽しく学習できると思う。
4	感動するような教材が多くあり、生徒の実態に沿っている。生徒にとって身近な課題が多くあると思う。
5	幅広く柔軟な考えや心を育てる教科書として適している。

平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

廣済堂あかつき

その教科書が適切である理由	
4.「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
1	各学年とも、自分たちのこととして捉えやすい内容の読み物があり、議論につなげることができる。
5.「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
6.「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。	
1	ノートを使って、話し合い、課題を解決するための活動が行いやすくなっている。
7.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	
1	学習ノートがあり、学習に取り組みやすい。
2	本校の授業スタイルで扱いやすい組み立てになっている。

平成31年度使用教科用図書調査書まとめ 「その教科書が適切である理由」一覧

中学校・特別の教科 道徳

日本教科書

その教科書が適切である理由	
4.「特別の教科 道徳」に係る観点① 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
5.「特別の教科 道徳」に係る観点② 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。	
6.「特別の教科 道徳」に係る観点③ 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習は適切に取り上げられているか。	
7.本校の生徒の実態や地域等の特性との関連	